

## 地域資源利用学特論演習 (2単位)

担当者氏名 中村好男

### ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

河川流域内での水循環に基づいた水資源の有効利用ならび農村生態系の保全による環境付加価値の創造に関する修士論文の研究テーマを抽出し、各地域での実例をもとに学習する。ここでは、地域資源に関わる現代的テーマから問題点を抽出し、その解決方法の習得とプレゼンテーション能力を向上することを学習・教育による到達目標とする。この科目は、必要に応じてバイリンガル（日本語と英語）で実施する。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域資源利用	流域水循環	水利システム	水環境
農村生態系	土地改良	地域用水	農村振興

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	流域水循環の特徴(1)	河川特性と流域水循環構造を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内外の研究集会や研究発表会に積極的に参加し、自分の研究の位置づけや意義・目標ならびにプレゼンテーション方法などの準備学習を心がけること。</li> <li>・毎回の授業において使用したテキストや配付資料の復習と次回の授業の内容の予習を2時間程度行っておくこと。</li> </ul>
2	流域水循環の特徴(2)	河川特性と流域水循環構造を検討する。	
3	農業水利システムの特徴(1)	水田・畑地域での農業水利システムについて検討する。	
4	農業水利システムの特徴(2)	水田・畑地域での農業水利システムについて検討する。	
5	水田灌漑技術と水収支	水田灌漑技術と水収支について検討する。	
6	農村生態系と外来生物	農村生態系と外来生物の防除対策について検討する。	
7	地域用水と水環境(1)	農業用水の地域用水機能と環境保全対策を検討する。	
8	地域用水と水環境(2)	農業用水の地域用水機能と環境保全対策を検討する。	
9	修士論文作成方法(1)	修士論文のテーマと論文作成の骨格を検討する。	
10	修士論文作成方法(2)	既往の研究成果について検討する。	
11	修士論文作成法(3)	修士論文の作成演習を行う。	
12	プレゼンテーション方法(1)	研究内容のプレゼンテーション方法を習得する。	
13	プレゼンテーション方法(2)	研究内容のプレゼンテーション方法を習得する。	
14	プレゼンテーション方法(3)	研究内容のプレゼンテーション方法を習得する。	
15	総括	修士論文作成のための研究の手法と意義を総括する	

### ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

### ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

授業中に課すレポートの内容 (70点) とディスカッションによる理解度 (30点) をもとに評価する。

### ◆オフィスアワー

授業日の 18 時～19 時に研究室で質問等を受け付ける。

### ◆その他受講上の注意事項

研究テーマに関連する既往の研究論文や関連資料などをもとに、研究の独創性や社会的意義を常に意識して受講すること。